

社会・地歴公民

『MYP「個人と社会」指導の手引き（2014年9月／2015年11月から適用）』（2014年5月発行、2014年9月改訂の英語原本MYP *Individuals and societies guide* の日本語版、2016年9月）p.31-42、より作成。

Individuals and societies(個人と社会、社会科・地歴公民科)では、第1学年と第2学年は、到達目標レベルが異なるのではなく、学習内容が異なる(第1学年は地理、第2学年は歴史)。そのため、両学年では同じ評価基準を用いる。

Criterion A: Knowing and understanding 知識と理解

Achievement Level	Descriptor 評価基準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. 語彙をいくらか認識している。	i. 語彙をいくらか認識している。	i. 用語を限定的に使用している。	i. 関連する用語を限定的に使用している。	
	ii. 限定的な記述や事例を通じて、内容と概念の基本的な知識と理解を示している。	ii. 限定的な記述や事例を通じて、内容と概念の基本的な知識と理解を示している。	ii. 限定的な記述や事例を通じて、内容と概念の基本的な知識と理解を示している。	ii. 最低限の記述や事例を通じて、内容と概念の基本的な知識と理解を示している。	

Achievement Level	Descriptor 評価基準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. 語彙をいくらか使用している。	i. 語彙をいくらか使用している。	i. いくつかの用語を正確に使用している。	i. いくつかの用語を正確かつ適切に使用している。	
	ii. 単純な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の十分な知識と理解を示している。	ii. 単純な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の十分な知識と理解を示している。	ii. 単純な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の十分な知識と理解を示している。	ii. 十分な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の適切な知識と理解を示している。	

Achievement Level	Descriptor 評価基準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. 関連性のある語彙を多く使用しており、その使用は大体において正確である。	i. 関連性のある語彙を多く使用しており、その使用は大体において正確である。	i. 関連性のある用語を多くかつ正確に使用している。	i. 一定範囲の用語を正確かつ適切に使用している。	
	ii. 記述、説明、事例を通じて、内容と概念の相当な知識と理解を示している。	ii. 記述、説明、事例を通じて、内容と概念の相当な知識と理解を示している。	ii. 記述、説明、事例を通じて、内容と概念の相当な知識と理解を示している。	ii. 正確な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の相当な知識と理解を示している。	

Achievement Level	Descriptor 評価基準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. 関連性のある語彙を一貫して正確に使用している。	i. 関連性のある語彙を一貫して正確に使用している。	i. 幅広い用語を一貫して正確に使用している。	i. 広範囲の用語を一貫して効果的に使用している。	
	ii. 詳細な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の非常に優れた知識と理解を示している。	ii. 詳細な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の非常に優れた知識と理解を示している。	ii. 高度かつ正確な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の非常に優れた知識と理解を示している。	ii. 綿密かつ正確な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の非常に優れた知識と理解を示している。	

社会・地歴公民

『MYP「個人と社会」指導の手引き（2014年9月／2015年11月から適用）』（2014年5月発行、2014年9月改訂の英語原本MYP *Individuals and societies guide* の日本語版、2016年9月）p.31-42, より作成。

Individuals and societies (個人と社会, 社会科・地歴公民科)では、第1学年と第2学年は、到達目標レベルが異なるのではなく、学習内容が異なる(第1学年は地理、第2学年は歴史)。そのため、両学年では同じ評価基準を用いる。

Criterion B: Investigating 調査探究

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. 研究課題を特定している。	i. 研究課題を特定している。	i. 明確で関連性があり、かつ的の絞られた研究課題を特定している。	i. 明確または的の絞られた研究課題を設定し、その関連性を記述している。	
	ii. 研究課題を探究するための行動計画を限定的な方法で実践している。	ii. 研究課題を探究するための行動計画を限定的な方法で実践している。	ii. 限定的な行動計画を策定しているが、計画を実践していない。	ii. 研究課題を調査するための限定的な行動計画を策定しているが、計画を実践していない。	
	iii. 情報を限定的な範囲で収集し記録している。	iii. 情報を限定的な範囲で収集し記録している。	iii. 限定的な情報またはときどき関連性のない情報を収集し記録している。	iii. 研究課題に必ずしも一貫性がない情報を限定的に収集し記録している。	
	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を限定的な範囲で振り返っている。	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を限定的な範囲で振り返っている。	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を限定的な方法で振り返っている。	iv. 調査のプロセスと結果を限定的に評価している。	

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. 研究課題の選択を記述している。	i. 研究課題の選択を記述している。	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定または選択し、その関連性を記述している。	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定し、その関連性を詳細に記述している。	
	ii. 研究課題を探究するための行動計画を部分的に実践している。	ii. 研究課題を探究するための行動計画を部分的に実践している。	ii. 研究課題を調査するための部分的な行動計画を策定して、ときどき実践している。	ii. 研究課題を調査するための行動計画を部分的に策定して、幾分か実践している。	
	iii. いくらか関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. いくらか関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. いくらか関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. おおむね関連性のある情報を収集し記録するための研究方法を活用している。	
	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果をいくらか深いレベルで振り返っている。	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果をいくらか深いレベルで振り返っている。	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を振り返っている。	iv. 調査のプロセスと結果のいくつかの側面を評価している。	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. 研究課題の選択を詳細に記述している。	i. 研究課題の選択を詳細に記述している。	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定または選択し、その関連性を詳細に記述している。	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定し、その関連性を説明している。	
	ii. 研究課題を探究するための行動計画をおおむね実践している。	ii. 研究課題を探究するための行動計画をおおむね実践している。	ii. 研究課題を調査するための十分に考えられた行動計画を策定して、おおむね実践している。	ii. 研究課題を調査するための相応な行動計画を策定して実践している。	
	iii. 大体において関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. 大体において関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. 適切かつ関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. 適切かつ関連性のある情報を収集し記録するための調査方法を活用している。	
	iv. 研究のプロセスと結果を振り返っている。	iv. 研究のプロセスと結果を振り返っている。	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を評価している。	iv. 調査のプロセスと結果を評価している。	

Achievement Level	Descriptor 評価規準の説明				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. 研究課題の選択を説明している。	i. 研究課題の選択を説明している。	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定または選択し、その関連性を説明している。	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定し、その関連性を正当化している。	
	ii. 研究課題を探究するための行動計画を効果的に実践している。	ii. 研究課題を探究するための行動計画を効果的に実践している。	ii. 研究課題を調査するための効果的な行動計画を策定して、一貫して実践している。	ii. 研究課題を調査するための包括的な行動計画を策定して、効果的に実践している。	
	iii. 一貫して関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. 一貫して関連性のある情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. 適切かつ関連性のあるさまざまな情報を収集し記録するための方法を活用している。	iii. 適切で多様かつ関連性のある情報を収集し記録するための研究方法を活用している。	
	iv. 研究のプロセスと結果を徹底的に振り返っている。	iv. 研究のプロセスと結果を徹底的に振り返っている。	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を詳細に評価している。	iv. 研究のプロセスと結果を徹底的に評価している。	

社会・地歴公民

『MYP「個人と社会」指導の手引き（2014年9月／2015年11月から適用）』（2014年5月発行、2014年9月改訂の英語原本MYP *Individuals and societies guide* の日本語版、2016年9月）p.31-42, より作成。

Individuals and societies (個人と社会, 社会科・地歴公民科)では、第1学年と第2学年は、到達目標レベルが異なるのではなく、学習内容が異なる(第1学年は地理、第2学年は歴史)。そのため、両学年では同じ評価基準を用いる。

Criterion C: Communicating コミュニケーション

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. あまり明確でないスタイル(文体)で、情報や考えを伝達している。	i. あまり明確でないスタイル(文体)で、情報や考えを伝達している。	i. 受け手と目的にとって必ずしも適切でない方法で、情報や考えを伝達している。	i. 限定的ではあるが受け手や目的にとって適切なスタイル(文体)を使用して、情報や考えを限定的な方法で伝達している。	
	ii. 情報や考えを限定的な方法で整理している。	ii. 情報や考えを限定的な方法で整理している。	ii. 情報や考えを限定的な方法で整理している。	ii. 限定的な方法の中の特定の形式に従って、情報や考えを構成している。	
	iii. 課題の指示に従っておらず、一貫性がない状態ではあるが、情報源を列挙している。	iii. 課題の指示に従っておらず、一貫性がない状態ではあるが、情報源を列挙している。	iii. 一貫性がない状態ではあるが、情報源を列挙している。	iii. 限定的な方法で、情報源を記録している。	

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. 幾分か明確な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 幾分か明確な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 受け手と目的にとって幾分か適切な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 受け手や目的にとって幾分か適切なスタイル(文体)を使用して、情報や考えを十分に伝達している。	
	ii. 情報や考えを幾分か整理している。	ii. 情報や考えを幾分か整理している。	ii. 情報や考えを幾分か整理している。	ii. 特定の形式に幾分かふさわしい方法で、情報や考えを構成している。	
	iii. 課題の指示にときどき従う方法で、情報源を列挙している。	iii. 課題の指示にときどき従う方法で、情報源を列挙している。	iii. 適切な引用文献リストを作成し、時おり情報源に言及している。	iii. ときどき、広く認知された表現技法に則って情報源を記録している。	

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. おおむね明確な方法で、情報や考えを伝達している。	i. おおむね明確な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 受け手と目的にとっておおむね適切な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 受け手や目的にとっておおむね適切なスタイル(文体)を使用して、情報や考えを正確に伝達している。	
	ii. 情報や考えをおおむね整理している。	ii. 情報や考えをおおむね整理している。	ii. 課題の指示に従って、おおむね情報や考えを構成している。	ii. 特定の形式におおむねふさわしい方法で、情報や考えを構成している。	
	iii. 大体において課題の指示に従う方法で情報源を列挙している。	iii. 大体において課題の指示に従う方法で情報源を列挙している。	iii. 適切な引用文献リストを作成し、たいいては情報源に言及している。	iii. 大体において、広く認知された表現技法に則って情報源を記録している。	

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. 完全に明確な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 完全に明確な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 受け手と目的にとって完全に適切な方法で、情報や考えを伝達している。	i. 受け手や目的にとって完全に適切なスタイル(文体)を使用して、情報や考えを効果的かつ正確に伝達している。	
	ii. 情報や考えを完全かつ効果的に整理している。	ii. 情報や考えを完全かつ効果的に整理している。	ii. 課題の指示に従って、完全に情報や考えを構成している。	ii. 特定の形式に完全にふさわしい方法で、情報や考えを構成している。	
iii. 課題の指示に常に従う方法で、情報源を列挙している。	iii. 課題の指示に常に従う方法で、情報源を列挙している。	iii. 完全な引用文献リストを作成し、常に情報源に言及している。	iii. 一貫して、広く認知された表現技法に則って情報源を記録している。		

社会・地歴公民

『MYP「個人と社会」指導の手引き（2014年9月／2015年11月から適用）』（2014年5月発行、2014年9月改訂の英語原本MYP *Individuals and societies guide* の日本語版、2016年9月）p.31-42, より作成。

Individuals and societies (個人と社会, 社会科・地歴公民科)では、第1学年と第2学年は、到達目標レベルが異なるのではなく、学習内容が異なる(第1学年は地理、第2学年は歴史)。そのため、両学年では同じ評価基準を用いる。

Criterion D: Thinking critically 批判的思考

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
1 to 2	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	1 to 2
	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点を限定的な範囲で特定している。	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点を限定的な範囲で特定している。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論を限定的な方法で分析し始めている。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論を限定的な範囲で分析している。	
	ii. まれにはあるが、意見を正当化するために情報を活用している。	ii. まれにはあるが、意見を正当化するために情報を活用している。	ii. 単純な主張を行うために、情報のつながりを特定し始めている。	ii. 限定的な範囲で情報を要約して、主張を行っている。	
	iii. 情報源やデータの出典と目的を限定的に特定している。	iii. 情報源やデータの出典と目的を限定的に特定している。	iii. わずかな情報源やデータの出典と目的を認識して、その価値や限界もわずかに認識している。	iii. 限られた数の情報源やデータを出典や目的という観点から記述し、その価値や限界をわずかに認識している。	
iv. さまざまな見方をいくつか特定している。	iv. さまざまな見方をいくつか特定している。	iv. さまざまなものの見方を特定している。	iv. さまざまなものの見方とそこに含まれる最低限の意味を特定している。		

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
3 to 4	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	3 to 4
	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点をいくつか特定している。	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点をいくつか特定している。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論の単純な分析を完了している。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論を分析している。	
	ii. いくつかの情報を活用して意見を正当化している。	ii. いくつかの情報を活用して意見を正当化している。	ii. 情報を要約して、適切な主張をいくつか行っている。	ii. 情報を要約して、主張を行っている。	
	iii. 情報源やデータの出典と目的を特定している。	iii. 情報源やデータの出典と目的を特定している。	iii. 情報源やデータを出典や目的という観点から分析し、その価値や限界のいくつかを認識している。	iii. 情報源やデータを出典や目的という観点から分析または評価し、その価値や限界のいくつかを認識している。	
iv. さまざまな見方のうちのいくつかを特定して、そこに含まれる意味をいくつか提示している。	iv. さまざまな見方のうちのいくつかを特定して、そこに含まれる意味をいくつか提示している。	iv. さまざまなものの見方を認識して、そこに含まれる意味をいくつか提示している。	iv. さまざまなものの見方とそこに含まれる意味をいくつか解釈している。		

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
5 to 6	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	5 to 6
	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点を特定している。	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点を特定している。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論の適切な分析を完了している。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論について議論している。	
	ii. 情報を使用して意見を十分に正当化している。	ii. 情報を使用して意見を十分に正当化している。	ii. 情報を要約して、たいていは有効な主張を行っている。	ii. 情報を統合して、有効な主張を行っている。	
	iii. 情報源やデータの出典と目的を幅広く特定している。	iii. 情報源やデータの出典と目的を幅広く特定している。	iii. 情報源やデータを出典や目的という観点から分析し、その価値や限界をたいていは認識している。	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から効果的に分析および評価し、その価値や限界をたいてい認識している。	
iv. さまざまな見方とそこに含まれる意味をおおむね特定している。	iv. さまざまな見方とそこに含まれる意味をおおむね特定している。	iv. さまざまなものの見方を明確に認識して、そこに含まれる意味をおおむね記述している。	iv. さまざまなものの見方とそこに含まれる意味を解釈している。		

Achievement Level	Descriptor				Achievement Level
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
7 to 8	生徒は	生徒は	生徒は	生徒は	7 to 8
	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点を詳細に特定している。	i. 見解、出来事、視覚表現、議論の要点を詳細に特定している。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論の詳細な分析を完了している。	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論の詳細な議論を完了している。	
	ii. 情報を活用して意見を詳細に正当化している。	ii. 情報を活用して意見を詳細に正当化している。	ii. 情報を要約して、一貫した論拠のある主張を行っている。	ii. 情報を統合して、有効かつ論拠のある主張を行っている。	
	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から一貫して特定し、分析している。	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から一貫して特定し、分析している。	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から効果的に分析し、その価値や限界を一貫して認識している。	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から効果的に分析および評価し、その価値や限界を一貫して認識している。	
iv. さまざまな見方とそこに含まれる意味を一貫して特定している。	iv. さまざまな見方とそこに含まれる意味を一貫して特定している。	iv. さまざまなものの見方を明確に認識して、そこに含まれる意味を一貫して説明している。	iv. 幅広いさまざまなものの見方とそこに含まれる意味を徹底的に解釈している。		